

# 子牛がミルクを飲みやすく、哺乳作業が 楽な哺乳バケツホルダーの開発

畜産研究所

## 1 背景、目的

子牛への哺乳及び給餌は、酪農および肥育農家の日常作業の中でも多くの労力を要する作業です。子牛に哺乳する際は、哺乳バケツをひもで吊り下げたり手に持って給餌するのが一般的です。その場合、子牛が哺乳バケツを突き上げたり、乳首を強引にひっぱり哺乳バケツが回転したり、ミルクが飛散するため、作業者が補助する必要が生じ肉体的、時間的にも負担がかかります。

そこで、子牛が飲みやすく、作業者の労力を軽減できる哺乳バケツを固定するためのホルダーを考案・作成しました。

## 2 成果の内容、特徴

1) 鉄筋、軟鋼丸棒等を用い、哺乳バケツホルダーを開発しました。

特長は、次のとおりです。

施設への設置や移動が簡単。

哺乳バケツの取っ手が固定できるので、その回転が抑えられる。

子牛の哺乳バケツの突き上げによるミルクの飛散防止が可能。

子牛の体高に合わせた高さ調節が可能。

2) 子牛は目の前に常に乳首があるので、吸い付きやすく、作業者が乳首に導く等の補助が不要です。

3) 子牛の哺乳時間は、哺乳バケツをひもで固定した場合に比べて約15%短い平均5.5分になります。

### 3 主要なデータなど



写真1 哺乳バケツホルダー



写真2 哺乳バケツをホルダーに装着したところ



写真3 哺乳バケツホルダーを利用し哺乳する子牛

表1 哺乳バケツの固定方法と哺乳時間（1頭当たり）

固定方法	供試頭数	日 齢						平均
		2	3	4	5	6	7	
ひも	15	12.6	7.3	5.6	5.1	4.4	4.0	6.5 分
ホルダー	15	10.1	6.9	4.6	4.3	3.6	3.7	5.5 分

注) 哺乳時間：子牛が乳首に吸い付き、初乳又は全乳（2リットル）を哺乳するのに要した時間。